

ガスふろがま・ガス給湯器をお使いの時は・・・

お風呂を沸かす時は空だきに注意

空だきは、ふろがまや浴そうをいためるだけでなく、火災の原因にもなります。

点火の前に、もう一度水の確認。

排水栓を
確認

水を入
れる

水を確認

点火

(自動でお湯はりの出来るタイプでも、排水栓の確認をお忘れなく！)

入浴される時は湯温を確認

浴そう内のお湯が、場所によって高温になる場合があります。浴そうのお湯をよくかき混ぜ、お湯の温度を確かめてから入浴してください。

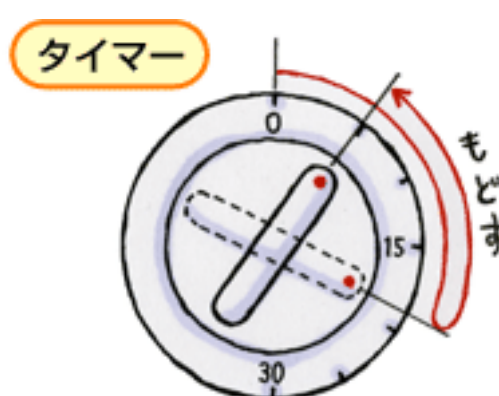


機械式(ゼンマイ式)タイマーを使用する場合のご注意点

短い時間のタイマーセットをする場合でも、一度、長時間の目盛りまでまわした後、ご希望の時間にセットしてください。

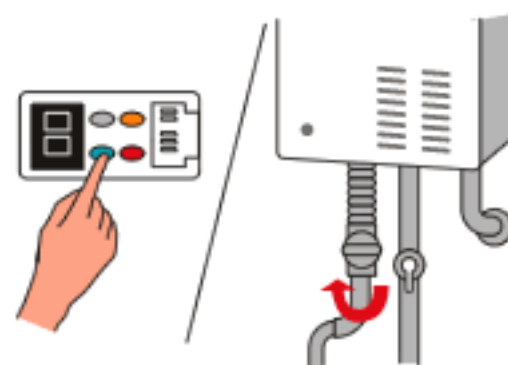
※詳細は取扱説明書をご覧ください。

例) 5分にタイマーセットする場合は、いったん10分よりも長い時間までまわした後で(例えば20分程度)、5分の位置にもどしてご使用ください。

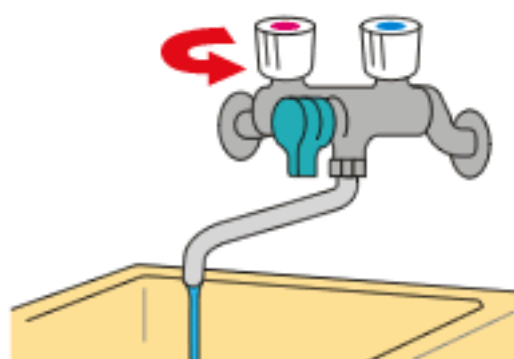


寒い夜にはガス給湯器の凍結にご注意

- リモコンがある場合は、運転スイッチをオフにしてください。リモコンがない場合は、ガス機器のガス栓をしっかりと閉めてください。



- 配管が凍らないように、お湯の出る蛇口から一分間に牛乳ビン一本以上の水を流し続けてください。浴そうなどで受けると経済的です。



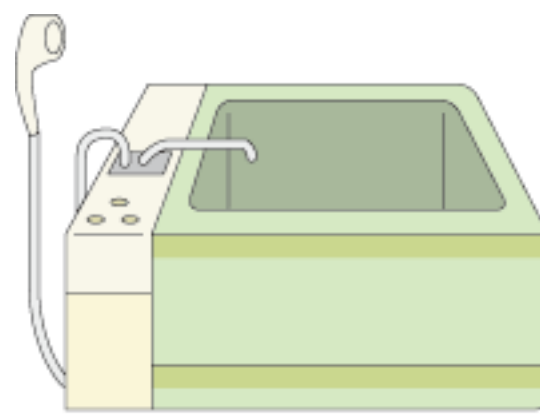
- 電気コンセントは抜かないでください。(凍結防止ヒーターが作動しなくなります)



バランス式ふろがまのご使用時の注意

シャワーを使う前にお湯の温度を確かめましたか？

お風呂をお使いの時に、いったんお湯の使用を止め、再度カランやシャワーでお湯を出す時などに、高温のお湯がでる場合があります。お湯の温度が安定するのを確認してから、ご使用ください。いきなり身体にかけると「やけど」をする場合があります。



壁と排気筒の間のすき間をチェック

壁と排気筒の間にすき間がないかご確認ください。すき間があると、排気が浴室内に逆流し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。

こんな場合は点検を

カランまたはシャワーを止めても消火が遅れる、種火が消える、熱湯が出る、異常音をするなどの場合は点検をお申し出ください。(有償)

排水口は時々お掃除を

浴室の排水口は時々お掃除をしていつも水はけをよくしておきましょう。ふろがまが水につかると故障の原因になり、長持ちしません。

ご存知ですか？

ガスふろがま・循環口

湯あか、水あかがたまったら、上部循環口、下部循環口に水道ホースを入れて強く水を流し込むと、水が上下に循環して汚れが取れます。